

2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月13日

上場会社名 アイビーシー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3920 URL https://www.ibc21.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 裕之
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス本部長 (氏名) 松本 一彦 TEL 03-5117-2780
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の業績 (2024年10月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	419	-	13	-	12	-	10	-
2024年9月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	1.92	1.91
2024年9月期第1四半期	-	-

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期第1四半期 3百万円 2024年9月期第1四半期 4百万円

(注) 2024年9月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、前期において連結子会社である株式会社サンデーアーツの事業譲渡に伴い、重要性が乏しくなったことから、連結の範囲より除外し、2025年9月期第1四半期会計期間より非連結決算に移行しました。そのため、2024年9月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	3,060	1,905	1,905	1,905	62.3
2024年9月期	3,240	1,905	1,905	1,905	58.8

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 1,905百万円 2024年9月期 1,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	-	4.00	-	4.00	8.00
2025年9月期	-	-	-	-	-
2025年9月期(予想)	-	6.00	-	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,056	-	170	-	192	-	137	-	-
通期	2,400	14.8	450	17.0	482	21.9	358	55.5	64.72

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2 非連結決算に移行したことに伴い、2025年9月期第2四半期の業績予想(累計)対前年四半期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年9月期1Q	5,725,600株	2024年9月期	5,723,600株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	194,159株	2024年9月期	194,159株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年9月期1Q	5,529,876株	2024年9月期1Q	5,529,441株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(持分法損益等)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国経済を取り巻く環境は、物価や為替・金融市場の動向に加え、中東・ウクライナ情勢、欧米での政局の変化や中国経済の不確実性等により、予測することが難しい状況となりました。また、大企業を中心に、定期昇給を含む賃上げ率は高水準を維持するなど、継続して賃金の伸びは高まっており、物価上昇とのバランスも鑑み日本経済は穏やかではありますが成長していくと信じております。

企業においては、これまでの少子高齢化に伴う労働人口の減少や働き手ニーズの多様化に加え、働く場所にとられない新しい働き方の定着、生成AIの急速な進展等に伴い、業務プロセスの効率化や自動化等の推進によるデジタルトランスフォーメーション(DX)や、さらには地球にやさしい環境を迫るグリーン・トランスフォーメーション(GX)がますます重要になってきています。自動車や鉄道等の交通産業、金融機関、電力、ガス等のインフラ産業、自治体をはじめとする公共機関など、すべての事業体でITを活用したトランスフォーメーションの重要性がさらに高まるとともに、セキュリティ対策が併せて最重要となっております。

このような状況下で当社では、2024年10月にプライベート展示会「IBC DAY 2024」を開催し、ユーザー様による事例セミナー、当社や協賛企業の最新ソリューションの展示を行い、多くのユーザー様・パートナー企業の方々にご来場いただきました。ユーザー様による事例セミナーで紹介いただいた各業種ならではの活用方法などを参考に機能やサービスのさらなる拡充を図ってまいります。

2024年12月には、政府(文部科学省)が取り組むGIGAスクール構想(児童・生徒向けの1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、個別最適化された創造性を育む教育を実現する構想)で進んだ校務・学習のDX化のなか、同構想の課題となっている「ネットワーク不具合の解消」「適切なネットワークの整備」への必要なソリューションの紹介として、教育委員会や当社パートナー企業向けの特設ページを開設しました。教育現場のICT環境の現状を把握しつつ、将来のシステム状況を分析・予測し、NEXT GIGAに備えた最適なICT環境を提供することで、GIGAスクール構想が目指す学びの実現に寄与したいと考えております。

同じく2024年12月に、System Answer G3の価格改定を実施いたしました。2018年の製品リリース以来、皆様のご支援により、6年以上にわたり安定したサービスを提供してまいりましたが、昨今の物価高騰や人件費の上昇など、外部環境の変化に伴い、やむを得ず価格改定を実施する運びとなりました。今後もすべてのステークホルダーの皆様のご理解とご協力を賜りながら、お客様により一層ご満足いただける製品開発とサービスの向上に努めてまいります。

その他、CSR活動の一環として、2012年12月に千葉県富津市にて就労継続支援B型事業所を運営するNPO法人AlonAlonを社員有志11名で訪問し、胡蝶蘭の栽培過程において障がい者の方々が元気で明るく働く様子を見学すると共に、農場の雑草むしりを中心に支援活動を行いました。こうした活動を通して、社員1人ひとりが困っている人を助ける優しさを持った人格形成を図ると共に、今後も様々な活動を通じてSDGsが目指す持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

当社は、ソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。ソフトウェア・サービス関連事業の内、当社におけるITシステム監視関連に関わる売上区分別の業績は以下の通りです。

ライセンスの販売については、System Answerを導入、運用されているお客様の更新を多く実施頂くとともに、注力してきたソリューション販売を着実に売り上げることができました。その結果、ライセンス販売については売上高198,116千円(前期比22.3%増)、サービスの提供については売上高142,605千円(前期比12.4%増)、その他物販等については売上高78,401千円(前期比1.4%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は419,123千円、営業利益は13,813千円、経常利益は12,727千円、四半期純利益は10,600千円で増収増益となりました。

当社は、2022年9月期より配当を開始し、増配を継続しており、今後とも継続して株主の皆様への積極的な利益還元を明確にするために累進配当を導入しました。当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項としており、今後の業績の推移や財務状況などを考慮し、また、将来の事業展開のための内部留保等を総合的に勘案しながら、累進配当を継続して実施することで、株主の皆様への積極的な利益還元に取り組む方針です。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、3,060,818千円（前会計年度末は3,240,080千円）となり、179,261千円減少しました。これは主に、現金及び預金が190,132千円増加した一方で、売掛金が407,005千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は1,155,207千円（前会計年度末は1,334,807千円）となり、179,599千円減少しました。これは主に、契約負債が7,613千円増加した一方で、買掛金が40,428千円、未払法人税等が25,181千円、それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、1,905,611千円（前会計年度末は1,905,273千円）となり、337千円増加しました。これは主に、利益剰余金は11,517千円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が11,255千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきまして、2024年11月14日付「2024年9月期決算短信」において公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,926,216	2,116,348
売掛金	660,181	253,175
棚卸資産	34,085	54,461
その他	48,356	38,478
流動資産合計	2,668,839	2,462,464
固定資産		
有形固定資産	31,676	30,250
無形固定資産	45,235	56,292
投資その他の資産		
投資有価証券	169,866	186,089
関係会社株式	43,301	43,301
保険積立金	162,847	169,466
その他	118,313	112,954
投資その他の資産合計	494,328	511,811
固定資産合計	571,240	598,354
資産合計	3,240,080	3,060,818
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,095	84,667
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	50,018	25,019
未払法人税等	34,026	8,845
契約負債	91,554	99,167
その他	232,621	136,251
流動負債合計	1,333,316	1,153,950
固定負債		
その他	1,491	1,257
固定負債合計	1,491	1,257
負債合計	1,334,807	1,155,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	443,230	443,530
資本剰余金	438,952	439,252
利益剰余金	1,221,447	1,209,929
自己株式	△221,114	△221,114
株主資本合計	1,882,515	1,871,597
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,758	34,013
評価・換算差額等合計	22,758	34,013
純資産合計	1,905,273	1,905,611
負債純資産合計	3,240,080	3,060,818

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	419,123
売上原価	103,662
売上総利益	315,461
販売費及び一般管理費	301,647
営業利益	13,813
営業外収益	
受取手数料	252
その他	89
営業外収益合計	342
営業外費用	
支払利息	1,428
営業外費用合計	1,428
経常利益	12,727
特別利益	
関係会社清算益	2,788
特別利益合計	2,788
税引前四半期純利益	15,516
法人税等	4,915
四半期純利益	10,600

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自2023年10月1日至2023年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年12月19日 定時株主総会	普通株式	33,176	6	2023年9月30日	2023年12月20日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自2024年10月1日至2024年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年12月20日 定時株主総会	普通株式	22,117	4	2024年9月30日	2024年12月23日	利益剰余金

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

前第1四半期累計期間(自2023年9月1日至2023年12月31日)については、連結業績を開示していたため、記載しておりません。また、当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第1四半期累計期間 (自2024年10月1日 至2024年12月31日)	
減価償却費	9,098千円

(持分法損益等)

	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
関係会社に対する投資の金額	16,861千円
持分法を適用した場合の投資の金額	64,379千円
持分法を適用した場合の投資利益の金額	3,971千円

(セグメント情報等の注記)

当社はソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。